太田東西 かわら版　　2010‘6

「母性と健康」母の日講演会　後編

100 名近いお客様の前で、母親に感謝の手紙を読みました。
いやぁ～、さすがに恥ずかしかったです（汗)。
司会の市原さんから「自宅で読んでくださいよ～！」というナイスな突っ込みがありましたが、敢えて皆さんの前で「さらけ出した」かったのです。

これまでのかわら版でも、「素直に自分をさらけ出すことから病気は治ります」「感謝の言葉を知人友人に言うことはもちろん大切ですが、家族に恥ずかしがらずに感謝の気持ちを言葉に出して伝えることは、もっと大切です」とお伝えしてきました。

ならば先陣を切って、太田東西が恥ずかしがらずに「さらけ出すべき」と考えました。相手に命令ばかりして、自分を棚に上げている人は最低ですからね。

一年前、「母の日」をテーマにしたかわら版に書きました。
「産んでくれてありがとう、育ててくれてありがとう、今の幸せがあるのはお母さんのおかげです」　恥ずかしがらずに、そう伝えてみましょう！と。

太田東西、母親を前にして「有言実行」、頑張りました。

感謝とねぎらいの言葉

当日、皆さんの前で「今の私は幸せです」と申しました。
では、何を持って「幸せ」なのか？
それは家族に「感謝とねぎらいの言葉」があるからです。

だからと言って、いつも仲が良いわけではありません。
夫婦で口論もしますし、子供と言い争いにもなりますし、母親に強く反発して泣かせてしまったこともあります…。
しかし騒動の後、「絶対に許さない！」とはなりません。
本音で話し合いながらも、相手の立場になって考える「母性」が家族全員にあるからだと思っています。

「幸せな家族」とは何か？
それは「母性＝思いやり」のある家族でしょう。
お金、学歴、豪邸があっても、母性を与えず、母性を求める人達ばかりが集う家族はやがて崩壊します。

さて、話変わって…
太田東西の「さらけ出し効果」が出た、大変嬉しい話があります。
ご夫婦で講演会に参加された奥様から伺ったのですが、これまで母の日に「お母さんありがとう」の言葉を家族に言われたことがなかったそうです。
しかし、講演会に刺激されたご主人、貴方は立派だった！

夕食時、ご主人が子供さん３人に向かって、こう言ったそうです。
「今日は母の日。お母さんに『ありがとう』とみんなで言おう！」

ご主人とお子さん、合掌して「お母さんいつもありがとう！」と感謝の思いを伝えたそうです。奥様、結婚１５年にして、初めての経験。
口下手でシャイなご主人は、「さらけ出し」に気負い過ぎ、頑張り過ぎたのかその夜、発熱してダウンしてしまったそうです。

奥様曰く、「感激しましたが、でもカーネーションがなかったんですよね～」。
何をおっしゃいます、奥様！
ご主人にとっては、「体を張った」企画演出だったのです。
演出後は、一気に緊張の糸が解けて、発熱してしまった…（涙）。

後日、太田東西からご主人に「努力賞」が進呈されたことは言うまでもありません。

母性の「副作用」

母性は「包み込む」性質。
冷え切った身体を、ふわふわの毛布で包み込んでくれるような気持ち良さ。
ありのままの自分を包み込んでくれる母性は、「こころ」を温かくしてくれます。

しかし「包み込み過ぎる」と、相手はどうなるでしょうか？
何でも許してくれる、自分を認めてくれる存在は、とても心強いですが、母性が強過ぎると、相手に「依存と甘え」の副作用が出てきます。
何でも「お母さんに相談してみてから」「お母さんの許しが出てから」といった、主体性のない“マザコン息子”がその代表です。

当日の講演会で「子育てに定石はない」と、その難しさをお話しました。
「過干渉」か「放任」か、どちらの子育てが良いのか？
過干渉では、子供の主体性と自信が欠けやすい…。
放任では、子供がわがままで礼節に欠けやすい…。

ただ一つ断言できることは、“三つ子の魂１００まで”の格言どおり、子供が３歳まではたっぷり甘えさせてあげることです。
「そうねそうね」「よかったね」「うれしいね」と、共感してあげること。
子供のこころの中に、「自分は愛されている！」という「母性の種」をしっかり植え付けてあげることが大切です。

絆の「副作用」

「きずな」：相互扶助、一致団結

「ほだし」：束縛、支配服従関係

「家族の絆」。「絆」は「ほだし」とも読み、辞書で調べますと、「馬や犬など動物をつなぎとめる綱・縄」とあります。
絆の副作用は、「ほだし」。親が子供を「つなぎとめる」ことです。
束縛された子供は、親の操り人形と化し、経済的、精神的に自立できません。

「子離れ」。

これが親としての「最終的子育て」なのかもしれません。
辛いことですが、太田東西も２人の子を持つ親として頑張ります（泣）。

あなたがそばにいるだけで♪

太田東西の目指すところは「母性の普及」です。
病気の人に限らず、不安な人、生きる希望を失っている人は、無意識に「母性」を求めています。誰だって、自分を認めてもらうと元気になるものです。
そんな太田東西の理念を、「歌」という形に乗せて広く伝えていきたいと思い
市原隆靖さん（いっちゃん）に作詞作曲を依頼しました。

そして出来上がった曲が **「あなたがそばにいるだけで」** です。

音楽には「気分」を瞬時に変える力があり、健康づくりにはこの「気分づくり」が何よりも大切です。そう、どんな薬よりも。
服用するその人の「気分」が、その薬の効果を左右しますから。

このＣＤは７月に正式に発売されます。アカペラの素晴らしい曲です。
市原さんには、確かな「母性」があります。
いっちゃんの妻になる人は、間違いなく幸せになると太田東西が保証します。
只今、花嫁募集中。理想のタイプは吉永小百合さんだそうです。
ちなみに福元さんも花嫁募集中、同じく吉永小百合さん。
いい男は、知的で上品な女性が好みのようです（笑）。

講演会に参加された皆さんには、一早く、ナマで聴いていただきましたが
改めてここで歌詞をご披露いたしましょう。

あなたがそばにいるだけで
このぬくもりは　優しくて
おだやかな　風のように
私をそっと　なでるでしょう

あなたがそばにいるだけで
こころのかげも　照らされて
やわらかな　光のように
私をそっと　つつむでしょう

しあわせは　ここにある
あなたがそばにいるだけで